

#### 4.平成 16 年度平取ダム環境調査について

### 4-2 哺乳類調査

#### 相調査

事業実施区域及びその周辺の範囲において多様な環境が含まれるように調査地点を 7 地点設定します。調査法は、以下に示す通り捕獲調査を基本とします。また、補足的に自動撮影方法も併用します。

調査項目・手法（哺乳類）

調査項目	調査方法
捕獲調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネズミ類など小型哺乳類を対象とし、調査地点にはじき罠、墜落缶を設置して哺乳類を捕獲、生息する哺乳類の相の把握を行う。</li> <li>記録する内容は以下の項目とする。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・確認年月日 ・確認地点</li> <li>・種名 ・確認個体数</li> <li>・確認地点の環境</li> </ul> </li> </ul>

#### 重要種調査

これまで確認された重要種を主な対象とし、各環境区分内における任意踏査により生息状況の確認を行います。重要種が確認された場合には、種、個体数、確認方法（個体確認、鳴声）、性齢、確認位置等や繁殖行動等について記録します。

記録する項目は以下の通りです。

- ・確認年月日
- ・確認地点の位置
- ・種名
- ・確認方法
- ・確認個体数
- ・確認地点の環境（地形、植生等）

既往の現地調査における重要種は、以下に示す 4 種類です。

現在までに確認されている重要種（哺乳類）

科名	種類名	H11～13	H15	文化財 保護法	種 の 保存法	環 RDB 2002	北 RDB 2001
ヒナコウモリ	Myotis sp.						
	チチブコウモリ					絶滅危惧 類	希少種
	ニホンコテンゴ コウモリ					絶滅危惧 類	希少種
イタチ	エゾクロテン					情報不足	
2 科 4 種類							

注：確認された種は「 」で示した。

Myotis sp.：ヒメホオヒゲコウモリとホオヒゲコウモリの可能性が考えられる種。重要性のランクは以下の通り。

- ヒメホウヒゲコウモリ：絶滅危惧 IB 類（環 RDB2002），絶滅危急種（北 RDB2001）
- ホウヒゲコウモリ：絶滅危惧 II 類（環 RDB2002），希 少 種（北 RDB2001）

### コウモリ類調査

調査範囲内における沢筋や林道上で捕獲調査地点(現地踏査により 6~7 地点を選定)において、カスミ網による捕獲調査を実施します。調査地点については、現地踏査、バットディテクターによる踏査を基に決定します。

#### 調査項目・方法(コウモリ)

調査項目	調査方法
バットディテクター調査	・コウモリ類の発する超音波を可聴域に変換するバットディテクターを用い、反応のある周波数帯から、コウモリ類の生息の有無を確認する。
コウモリ類捕獲調査	・コウモリ類の移動ルートとなる樹冠のある林道・沢などにカスミ網を設置し捕獲を行う。捕獲した個体の種の同定、外部計測(性、体重、前腕長、妊娠状態)、写真撮影を行った後、放逐する。

### ヒグマ調査

調査範囲内において、現地調査(痕跡調査)により、生息確認調査を実施します。詳細な調査範囲については聞き取り調査、既存資料等を勘案し決定します。

なお、調査範囲は事業実施区域及びその周辺とします。

#### 調査項目・方法(ヒグマ)

調査項目	調査方法
痕跡調査	・現地踏査によるフィールドサイン(足跡・糞・食痕(ザゼンソウ・フキ等))の確認により、ヒグマの生息状況・移動ルート等の確認を行う。
聞き取り調査	・平取町や周辺住民への聞き取り、またダム予定地周辺における個体の確認等の情報収集・整理を行う。

哺乳類調査地位置図

